

安心・安全な養殖魚生産技術開発事業 (病気に強い養殖魚生産技術開発事業)

福留慶, 今岡慶明

【目的】

鹿児島県のカンパチ養殖において問題となっているハダムシ症は、直接的な被害のみならず、寄生部位が他の病原体の感染門戸になるなど、より大きな被害に結び付く可能性がある。

現在、養殖現場におけるハダムシ症対策として、主に水産用医薬品による薬浴作業が実施されている。しかし、夏場の高水温期をピークに、薬浴を実施した数週間後には再びハダムシが寄生するという「いたちごっこ」が周年繰り返されており、多大な労力とコストが必要になっている。

そのため、医薬品に頼らないハダムシ症対策技術を開発することにより、養殖業者の作業・経済的負担を軽減するとともに、安心して安全な養殖魚の生産に資することを目的とする。

【材料と方法】

前年度に引き続き、甘草根粉末を添加したEP飼料を人工種苗カンパチに給餌し、ハダムシの寄生状況について、対照区との比較を行った。検証結果は肝付町産業創出課及び株式会社グリーンイノベーション開発2部、東海シープロ株式会社、鹿児島大学水産学部との共同研究によるもののため、割愛する。

(試験期間：令和元年5月14日～令和2年3月18日)